

事務事業実績測定調査

10525020006	第3プラント施設運営業務		
測定年度	2019(R1)年度	16000150	環境部穂谷川清掃工場
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち	
	取り組みの方向	85.ごみの発生抑制を最優先に、4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)を推進します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1988(S63)年度		～		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、大気汚染防止法、騒音規制法、下水道法・枚方市下水道条例、枚方市公害防止条例、水質汚濁防止法、大阪府生活環境の保全等に関する条例、ダイオキシン類対策特別処理法等				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	適正な分別・収集からなる適正処理を実現し、計画的かつ安定的な施設の保全及び維持管理が行われている。				
事業概要	<p>処理施設の概要 名称:穂谷川清掃工場 所在地:枚方市田口5丁目1番1号 第3プラント(焼却処理能力:200t/日、昭和63年3月竣工)、排水処理施設(処理能力:402m³/日、昭和56年3月竣工)、動物焼却炉(焼却処理能力:50kg/時、昭和57年3月竣工)</p> <p>第3プラント内のデータ処理設備、電気設備、非常用発電設備等各種機器の保守点検を行う。第3プラント、動物焼却炉、排水処理設備、井戸設備の定期補修工事を行う。 第3プラント、排水処理設備等(保守点検委託を行っている機器以外)の点検・修理を行う。 公害関係の分析調査及びごみ質分析を行う。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	修繕料、補修工事等に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100以内	100以内	100以内		
実績	98.91					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	19.60	19.30	16.44
正職員数	16.60	16.30	12.70
非正規職員数(計)	3.00	3.00	3.74
再任用職員数	3.00	3.00	3.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.74
■人件費総額(千円)	144,040	144,367	119,348
正職員人件費(換算額)	130,708	129,601	101,816
非正規職員人件費(計)	13,332	14,766	17,532
再任用職員人件費(換算額)	13,332	14,766	15,294
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	2,238
■直接経費(千円)	611,463	809,618	666,330
■事務事業の総計(千円)	755,503	953,985	785,678
国庫支出金	0	11,891	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	48,876	47,252	48,165
一般財源	706,627	894,842	737,513

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	98.91%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	<p>ごみ処理に関する公害関係法令、廃棄物関係法令に定める基準を遵守し、第3プラントで、42,962.05tの一般ごみを適正に焼却処理し、発生する残渣焼却灰、飛灰4,446tを大阪湾フェニックス埋立処分場へ搬送し適正に処理した。また、8,982,620kWh発電し、4,766,885kWh(43,656,777円)を売電した。第3プラント、排水処理設備、動物焼却炉、井戸設備の定期補修工事を実施した。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>定期的な設備の保守点検委託を行い、環境関係法令に定める基準を遵守し、適正かつ効率的な維持管理に努める。効率的なごみ処理計画により売電電力量の増加を図る。 市内域の一般ごみ、約4割を適正に処理する。 焼却灰、飛灰の適正な処理を行う。</p>	

事務事業実績測定調査

10525020007	穂谷川清掃工場施設管理業務		
測定年度	2019(R1)年度	16000150	環境部穂谷川清掃工場
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち	
	取り組みの方向	85.ごみの発生抑制を最優先に、4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)を推進します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2013(H25)年度		～		
根拠法令等	枚方市庁舎管理規則				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	穂谷川清掃工場を利用する市民が、施設を安心して安全に利用できている状態。				
事業概要	<p>施設の概要 名称:穂谷川清掃工場(焼却施設を除く) 所在地:枚方市田口5丁目1番1号 敷地面積:38,941㎡ 主な施設:管理棟(執務室及び作業員控室、昭和49年3月竣工、鉄筋コンクリート造3階建、建物面積2,382㎡)、公用車庫(昭和49年12月竣工、鉄骨造耐火構造平屋建、建物面積1,208㎡)、旧管理棟(昭和40年3月竣工、鉄骨造2階建、敷地面積232㎡、平成25年3月に改築し、同年4月から、リサイクル施設「ひらかた夢工房」として使用)等。</p> <p>穂谷川清掃工場敷地全体の環境美化及び、管理棟の日常点検(警備・清掃・緑地帯管理等)、法定点検(火災報知器点検・受水槽高架水槽点検・空気環境測定)、敷地内の建物の点検や部分補修などを計画的に行う。 市民持込みごみ受入業務を行う。 小学校の環境教育および企業等の環境研修として、施設見学の受け入れを行う。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	修繕料、補修工事等に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100以内	100以内	100以内		
実績	108.01					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	9.50	10.30	11.44
正職員数	8.50	7.70	10.30
非正規職員数(計)	1.00	2.60	1.14
再任用職員数	1.00	2.00	1.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.60	0.14
■人件費総額(千円)	71,373	72,183	87,897
正職員人件費(換算額)	66,929	61,223	82,575
非正規職員人件費(計)	4,444	10,960	5,322
再任用職員人件費(換算額)	4,444	9,844	5,098
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	1,116	224
■直接経費(千円)	36,897	60,810	64,203
■事務事業の総計(千円)	108,270	132,993	152,100
国庫支出金	0	2,287	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	108,270	130,706	152,100

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	108.01%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<p>穂谷川清掃工場管理棟の各種法定点検委託及び管理委託を実施した。 東部清掃工場溶融スラグについて、ストックヤードで保管管理し売却を行った。 穂谷川清掃工場敷地及び灰山駐車場の環境美化に努め、管理棟等を含めた老朽化している各施設の定期的な点検や補修を職員が行い、必要に応じ小規模修繕、緊急工事対応をするなど、突発的な故障等に対し、速やかに対応することで適正な維持管理を行った。 市民持込みごみ受入業務においては、ごみの分別について等の市民啓発を実施し、リサイクルの推進を図るため使用済小型電子機器、金属類、古紙・古布及び布団類の再資源化を行った。 水銀使用廃製品、空き缶、ビン・ガラス類及び、中身入りスプレー缶について、再資源化、処理委託業務を行った。 小学校の環境教育および企業等の環境研修として、施設見学の受け入れを行った。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>管理棟を含めた老朽化している穂谷川清掃工場敷地内の施設維持管理や環境美化を適切かつ効率的に行うため、穂谷川清掃工場職員の技術力を活かしていく。 再資源化によるリサイクルの推進。 委託業務による適正処理・管理を行う。</p>	

事務事業実績測定調書

10999990050	穂谷川清掃工場運営事務		
測定年度	2019(R1)年度	16000150	環境部穂谷川清掃工場
総合計画体系	基本目標	9:施策体系外	
	施策目標	99:施策体系外	
	取り組みの方向	99:施策体系外	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	1963(S38)年度		～		
根拠法令等	枚方市廃棄物の減量及び適正処理の促進に関する条例、労働安全衛生法、地方自治法、枚方市事務決裁規定、公害健康被害の補償等に関する法律等				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営を円滑に執行する。				
事業概要	穂谷川清掃工場の運営事務を効率的に執行し、ごみ処理経費の諸経費を適正に運営する。①市議会・職員団体等の調整及び交渉②行政評価及び事業計画の作成③庁内外への照会・回答④庶務事務等、を適正かつ効率的に執行する。				

2. 指標推移

指標種類	指標設定なし				
指標の説明	—				
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位
目標(予測)	—	—	—	—	
実績					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	5.90	5.90	5.00
正職員数	5.90	5.80	5.00
非正規職員数(計)	0.00	0.10	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.10	0.00
■人件費総額(千円)	46,457	46,393	40,085
正職員人件費(換算額)	46,457	46,116	40,085
非正規職員人件費(計)	0	277	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	277	0
■直接経費(千円)	3,780	2,477	1,988
■事務事業の総計(千円)	50,237	48,870	42,073
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	50,237	48,870	42,073

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	所管事務及び庶務事務を適正かつ効率的に執行した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	所管事務及び庶務事務を適正かつ効率的に行う。	